

Weekly Report

2025. 9. 28
No. 3146

ROTARY CLUB OF MOKA

2025～2026年度 国際ロータリー第2550地区 真岡ロータリークラブ

ID13862 真岡

Rotary



UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

真岡ロータリークラブ 柳田尚宏 会長メッセージ「原点回帰！」

■本日のプログラム

第2550地区地区大会

於:ライトキューブ宇都宮

③ ロータリー財団

④ 米山記念奨学会

祝電披露

2550 地区・3470 地区友好地区締結式

2550 地区代表挨拶

3470 地区代表挨拶

RI 会長代理祝辞

記念講演

公益財団法人 結核予防会

理事長,尾身茂

「ポリオ根絶

ーロータリーの期待と感謝ー」

ガバナー補佐紹介

地区内参加クラブ紹介

各種表彰

ロータリー奉仕部門功労者賞

ロータリー財団大口寄付者表彰

ガバナー賞

会員増強優秀賞

地区功労賞

ロータリー財団地区功労賞

記念品贈呈

RI 会長代理ご夫妻

直前ガバナー・地区幹事・直前会計長

ガバナーエレクト・ガバナーノミニー紹介

ガバナーエレクト挨拶

■地区大会 本会議

12:20 受付・登録開始

12:50 RI 会長代理ご夫妻入場

13:00 開会・点鐘

国歌並びにロータリーソング斉唱

物故者に対し黙祷

15:00

13:10 開会の言葉

歓迎の言葉

RI 会長代理紹介

ご来賓・地区外ロータリアン紹介

ガバナー挨拶並びに地区現況報告

16:05

RI 会長代理挨拶並びに RI 現況報告

大会委員会報告並びに上程

登録委員会・資格審査委員会

決議委員会・大会決議案採択

選挙管理委員会

来賓祝辞

栃木県知事 福田 富一様

宇都宮市長 佐藤 栄一様

記念事業目録贈呈

① 栃木県

輝くとちぎの人づくり推進基金へ

② 宇都宮市

宮っこの居場所づくり事業へ

MAKE UP 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 : 東武ホテルグランデ 小山中央 : 思水荘 真岡西 : フォーシーズン静風	宇 都 宮 : 東武ホテルグランデ 宇都宮東 : ホテルニューイタヤ 小 山 南 : 小山グランドホテル	益 子 : 益子カントリー 下野上三川 : 石橋商工会館 小 山 北 : 和風ダイニング彩華	宇都宮西 : 東武ホテルグランデ 宇都宮北 : ベルビィ宇都宮 小 山 : 小山グランドホテル	小山東 : 小山グランドホテル

会長:柳田 尚宏 幹事:坂本 光 会報委員:平石典嗣 中島弘司 市村滋郎 相場一宏

事務局:〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203(真岡商工会館内) TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL:<http://rc-moka.jp/> E-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

会報担当:平石典嗣

ガバナーノミニー挨拶

次期地区大会開催ホストクラブ代表挨拶

17:05 RI 会長代理所感

ガバナー謝辞

閉会の言葉

17:15 閉会の点鐘

■アフターパーティー

17:30 開会の言葉

乾杯

歓談

18:30 中締め

■ガバナー挨拶

2025-2026年度 国際ロータリー第2550地区

ガバナー 二十二 修 様

それでは、地区大会本会開催に先立ち、一言ご挨拶させていただきます。本日は、RI会長を代理として、2026年度～2028年度国際ロータリー理事の中谷研一様ご臨席のもと、地区内外から、さらには遠く台湾、またタイ王国からも多くのロータリアンとロータリーファミリーをこの宇都宮の地にお集まりいただき、こうして盛大に大会を開催できますことを、心より嬉しく、また楽しみにしております。皆様の日頃のクラブでの活動、地域社会や国際社会に対する奉仕の実践が、このような節目の場で共有され、さらなる歩みの力となることを願っております。

さて、今年度のフランチェスコRI会長メッセージ「ユナイテッド・フォー・グッド」のもとに、手を取り合おう。本大会が共に手を取り合い、行動することで友情も育み、自分自身の中の持続可能な良い変化をもたらす契機となりますことをご祈念申し上げます。また、基調講演では尾身茂氏をお招きし、ポリオの状況やロータリーについてお話しいたします。ポリオ根絶に向けて、ロータリーは次なる取り組みの準備ができております。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に行動を起こすことができます。

皆さん、良いことのために手を取り合しましょう。結びに、本大会の開催にご尽力いただいたホストクラブの皆様、関係各位の熱意とご協力に心から感謝を申し上げますとともに、本日ご参加の皆様にとって実り多い、そして心

豊かな驚きとなりますようご祈念申し上げます。以上、私からのご挨拶とさせていただきます。(要旨掲載)

■RI会長代理挨拶

フランチェスコ・アレツォRI会長代理

2026-2028年度 国際ロータリー理事

中谷 研一 様

皆さま、改めてこんにちは。ご紹介いただきました2026～2028年にRI理事を務める予定の、足利東ロータリークラブの中谷研一でございます。まずは、第2550地区の発展が著しく華やかになったことをお祝い申し上げます。皆さん、昨年度は多くの方が心配されたと思いますが、私も経験したことのない突然の出来事がありました。それは、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴさんが、突然RI会長を辞任するというものでした。今年度、我々に新たな年度が訪れるのか不安でしたが、最終的にはフランチェスコ・アレツォさんが新会長として就任されました。アレツォさんは、カルガリーで講演された際、ここに来る1週間前にご自宅でお孫さんと遊んでいたというお話をされていました。まさか1週間後にこの舞台に立つことになるとうちは思わなかったとおっしゃっていましたが、短期間の中で大きな方針をまとめるために動かされていました。新会長は、皆さんに3つの柱について考えていただきたいと述べています。一つ目は「リノベーション」です。各ロータリークラブで革新的な考えを持ち、古いものを改良しながら新しいものを取り入れるという革新性をぜひ考えてほしいということです。二つ目は「継続性」です。もともとロータリーは単年度組織とされており、一年間で活動が途切れることが課題ですが、それでは活動の活性化が得られないという問題があります。スリーイヤーゴールに基づき、各年度の会長が目標を引き継ぎ、最終目標に到達することを目指してほしいというメッセージです。三つ目は「パートナーシップ」です。多くの組織と連携して新たな活動の拠点として地域社会での活性化を図りたいとされています。

ここから、我々の現況報告をさせていただきますが、少し時間が経過していますので、少し手短にお話をさせていただきます。私自身は2023年および2024年の国際協議会のファシリテーター、2022年および2025年の規定審議会に参加し、多くの海外のロータリアンと意見交換をしております。しかし、最近感じているのは、海外のロー

タリアンと日本のロータリアンの間で考え方の違いが顕著であり、少し懸念を抱いております。

引き続き、ロータリーの新しい方向性を皆さんと共に創造するため、活動を進めていきたいと考えています。ご承知の通り、RI会長のもとで混乱がありました。辞任の理由が健康上の理由や会社の問題であることが公表されましたが、明確な回答が得られないままである点が少し心残りです。

我々の理事会は緊急会合を開き、2028年に行われる会長選挙に基づいて新会長を選出することに決定しました。2025年～2026年度の国際ロータリーの会長になったフランチェスコ・アレツォさんについてご紹介いたします。アレツォさんはイタリアのシチリア島ラクァーザ・ロータリークラブ出身で、口腔外科や矯正歯科を専門とする開業医です。また、農業企業も経営していらっしゃいます。ロータリーには30年以上在籍しており、様々な役職を歴任されてきた方です。

今年度の会長メッセージは「良いことのために手を取り合おう」というもので、分断が進む現代の世界において結束の力を呼びかける重要なメッセージです。ロータリーは人種、宗教、職業など多様な背景を持つ人々を結びつけ、地域社会での良い活動を進めるという共通の使命を持っています。

今後は、地域社会において良いつながりを築くことが、世界的なインパクトを高めることにつながります。メンバー数の増強や会員間の対話と協力を育むことが重要であり、持続的な変化を生み出すためには共に手を携えて行動していく必要があります。

ロータリークラブの会員数は、2023年7月1日時点で112万人を超え、残念ながら減少傾向にあります。特に日本では会員数が減少しており、国際的にも同様の傾向が見受けられます。会員数の増加はロータリーの運営基盤を強化し、地域社会への貢献をより一層高めるために欠かせません。

このような状況から、我々は新しい取り組みを進めていく必要があります。皆さんと共に引き続き、夢を持って手を取り合い、ロータリーの活動を発展させていきたいと思っております。最後までご清聴いただき、誠にありがとうございました。(要旨掲載)

■ 記念講演

公益財団法人 結核予防会理事長 尾身 茂 様

今日は、『ポリオ根絶 ―ロータリーの期待と感謝―』についてお話ししますが、冒頭から私の気持ちをお伝えしたいと思います。これは全く本音の話であり、私にはあまりお世辞はありません。しかし、本音を述べさせていただきますと、私は1990年頃からロータリーの皆さんとポリオ根絶に向けた戦いを続けてきましたので、今日は特にお詫び申し上げたい方もいるかもしれませんが、私にとってロータリーの皆さんは特にポリオ根絶という意味で、戦友のような存在です。そのため、今日は私自身がロータリーの皆さんの貢献に触れつつ、ポリオ根絶に向けた決意を新たにしたいと思ひ、一時間ほどお話しさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

その前に、皆さん、最近のコロナのパンデミックで大変な思いをされた方が多いと思います。また、次のパンデミックがいつ来るかということについても関心があると思いますが、実はパンデミックは定期的にやってきます。これらのパンデミックのほとんどは、呼吸器感染症に関連しているのですが、経口感染によるパンデミックは基本的には起こりません。私は結核予防会の代表を務めていますが、結核は呼吸器感染症の代表とも言えます。

パンデミックが起こる背景については、皆さんもご存じのとおりです。特に、世界的な人の移動や森林伐採、動物と人間の接触、そして地球温暖化などがパンデミックの要因となっていることは広く認識されています。また、最近のエコロジーに関する新しい考え方もあります。エコロジーの専門家が書いた本によれば、動物は大きく分けて野生動物と家畜動物の二種類に分類されます。現在、野生動物はどんどん減少していますが、家畜動物の数は急速に増えています。これがパンデミックのリスクを高める要因となっています。

例えば、私が若い頃に結核に感染したことがよくあります。私の体内には結核菌が眠っていますが、私の免疫が強いおかげで抑え込まれています。しかし、年齢とともに免疫力が低下すると、これらの細菌が再活性化し、結核を発症する危険があります。実は、同じような現象が動物にも当てはまります。このような動物が飼育環境に閉じ込められると、ストレスが生じ、彼らの免疫力が低下し、さまざまな病気、特にウイルス性の病気のリスクが高まります。

我々は、ポリオの根絶を目指していますが、これには複数の戦略が必要です。最初は、定期予防接種です。これは日本を含む世界中で行われているジフテリアや百日咳などの予防接種に相当します。ポリオの根絶には、すべての国の5歳以下の子どもに対して予防接種を義務化することが必要です。これを成功させるためには、年に一度予防接種週間を設け、95%以上の子どもにワクチン接種を行わなければなりません。

そして、ポリオのサーベイランスも非常に重要です。一般的に、急性弛緩性麻痺(AFP)はポリオ以外の疾患も引き起こすため、これを正確に区別することは非常に困難ですが、すべての急性弛緩性麻痺の症例を報告してもらい、便を検査することでポリオが存在するかどうかを確認しています。このようにして、ポリオがないかどうかを調べる基準が設けられています。

私たちがアジア各国や限界集落でダイナミックに活動してきた結果、いい方向に向かってきましたが、これからもロータリーの皆さんの支援が必要です。特に、最後のマイルの努力が求められています。皆さんがこれまでのご貢献を続けて下さることが、ポリオ根絶には不可欠です。

これからも、皆さんと共にこの課題に取り組んでいきたいと思しますので、どうかご協力をよろしくお願いいたします。最後に、私が書いた本の印税を、すべて結核対策に寄付することとしていますので、良ければ手に取っていただければ幸いです。これからも、一緒に活動していきましょう。どうもありがとうございました。(要旨掲載)





■次回のプログラム

10月2日(木)12時30分より 於:真岡商工会議所
月初例会

■月間予定出席者

在籍 46 名	出席免除者 1 名 (有資格者 1 名 + 有理由者 名)						
例会日	出席義務	事前 MU	事後 MU	出席者	内免除者	欠席者	出席率 (%)
補正後 月 日							
本日 9 月 28 日	44	0	-	18	0		39.13

■月間出席率(%) ※例会欠席は前日 15:00 までに必ず事務局までお知らせください。

7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
80.24	73.49										

※例会欠席は前日 15:00 までに必ず事務局(TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510)までお知らせください。